

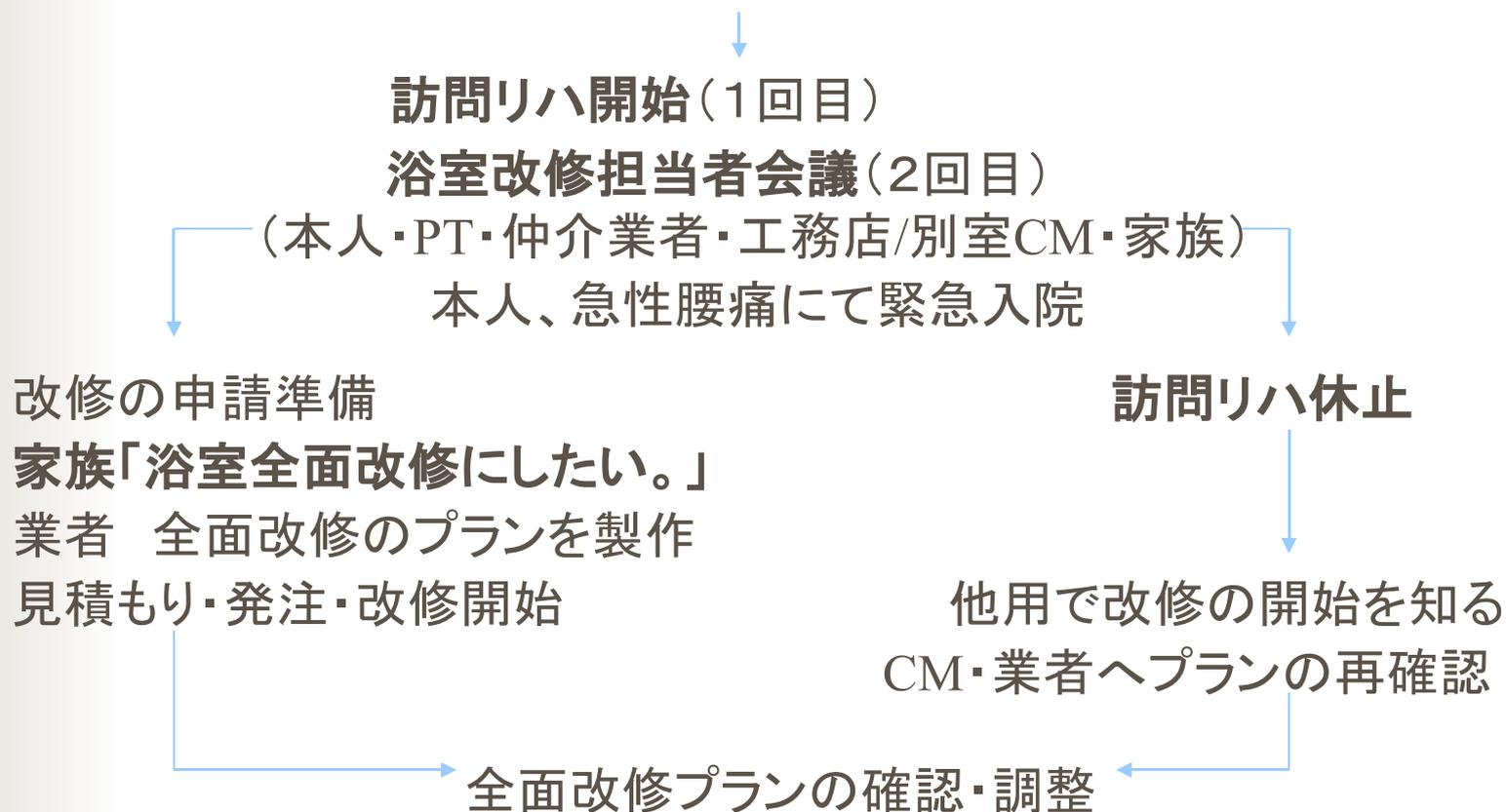
# 訪問看護7における家屋改修



～想いを共有する難しさ～

# 経緯...

- 本人「デイ・入院は嫌い。退院直後よりも歩きにくくなった。」
- 家族「動かないので、退院直後よりも歩行が不安定になってきた。」



# 状況

## ■ ケースプロフィール

83歳男性. 160cm/82kg 脊柱間狭窄症. 両側膝関節症.  
急性腰痛の為に、入退院を繰り返している. ADL自立.  
妻(膝痛あり)・息子夫婦と同居. 本人も腰痛・膝痛あり.  
入浴方法:両手で浴槽縁につかまり、前方から浴槽を跨ぐ

### ・本人

「足が悪くなってお風呂に入るのが  
大変になってきたが、毎日自宅  
でお風呂に入りたい。」

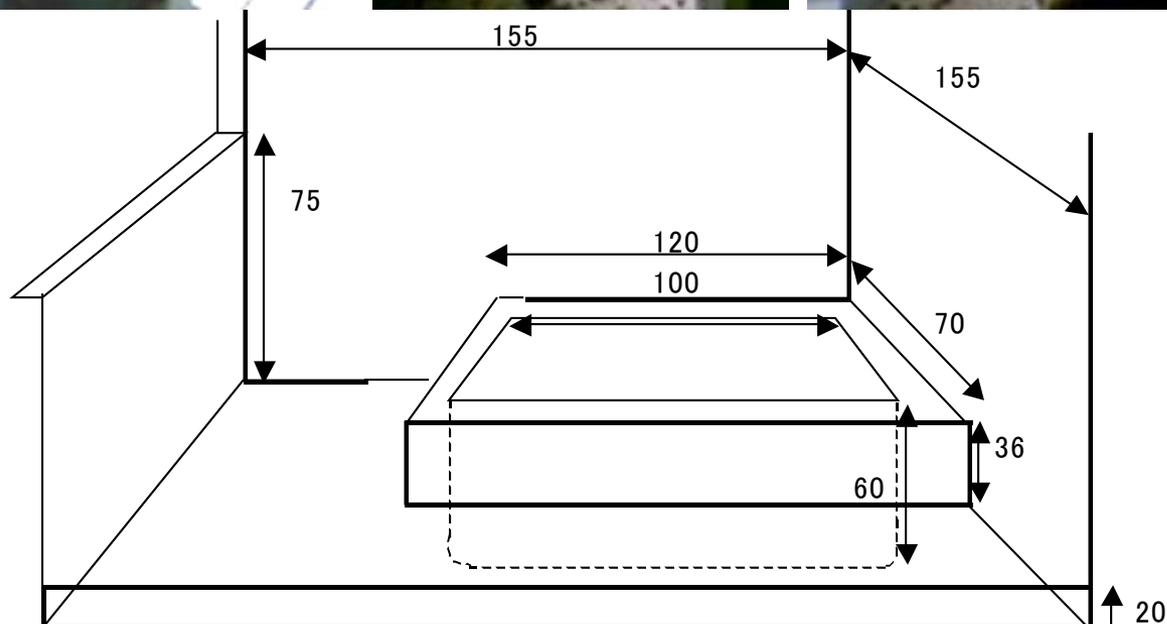
### ・家族(息子)

「母(妻)も膝が痛いので、二人が  
入りやすいお風呂にしてあげたい。  
手摺りもない為、安全に  
風呂に入れるのか心配。」



# 浴室環境

- ・S30年に改修。地震のため、タイルの亀裂あり
- ・浴室内タイルは本人が施工。愛着がある。



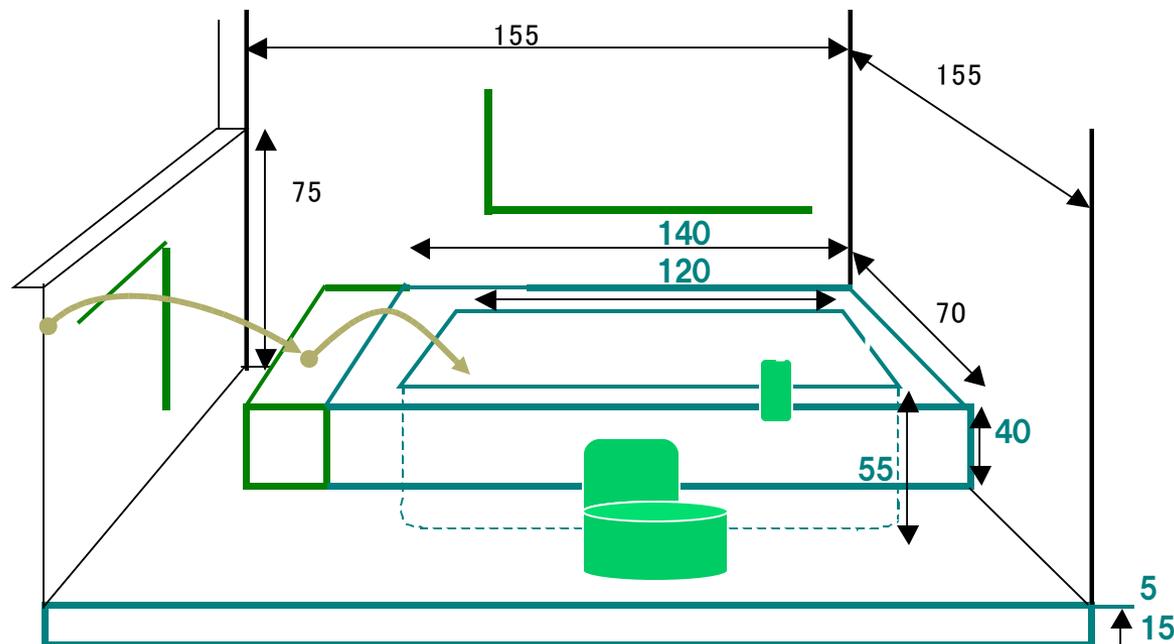
# PTからの改修提案

## ■ 座位による入浴方法

(両膝痛・腰痛への配慮、安全性への配慮)

### 【環境設定】

- すのこ: 段差の解消
- 浴槽の変更: 深さの改善、すのこによる補高への対応
- 手すり: 移動補助、浴槽への腰掛け・起立の補助
- シャワーチェア: 洗体時の座位の安定

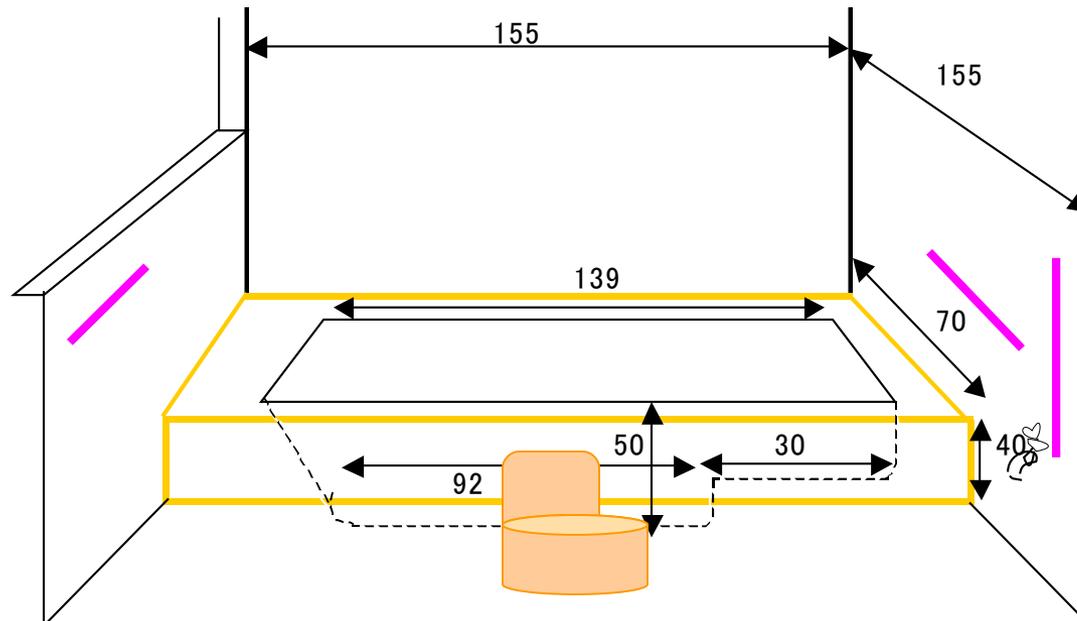


# A社の改修案

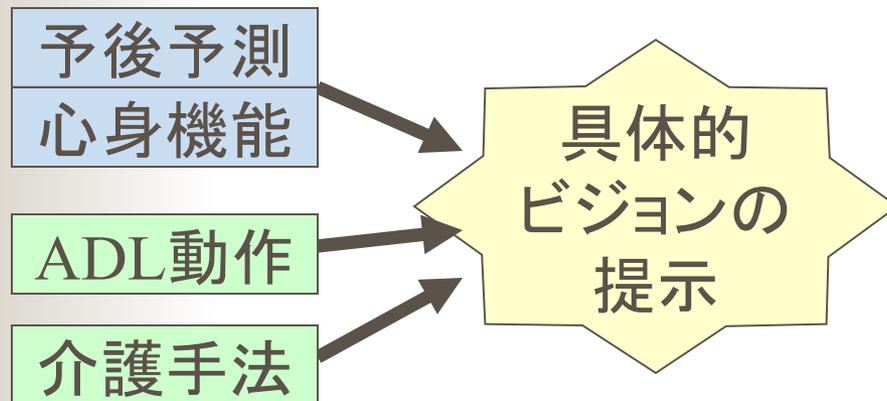
## ・またぎ動作での入浴

### 【環境設定】

- 床：滑りにくい素材
- 浴槽の変更：大きさ・深さの改善
- 手すり：移動・またぎ動作補助、洗体時の腰掛け・起立の補助
- シャワーチェア：洗体時の座位の安定
- 出入り口：3枚扉（幅の拡大）



# 今回のケースから学ぶべき点1



## 本人 家族

- ・介護手法に基づいた改修で失敗が少ない。
- ・改修後の生活がイメージし易いため、住み慣れた家や生活を作り変える不安が軽減

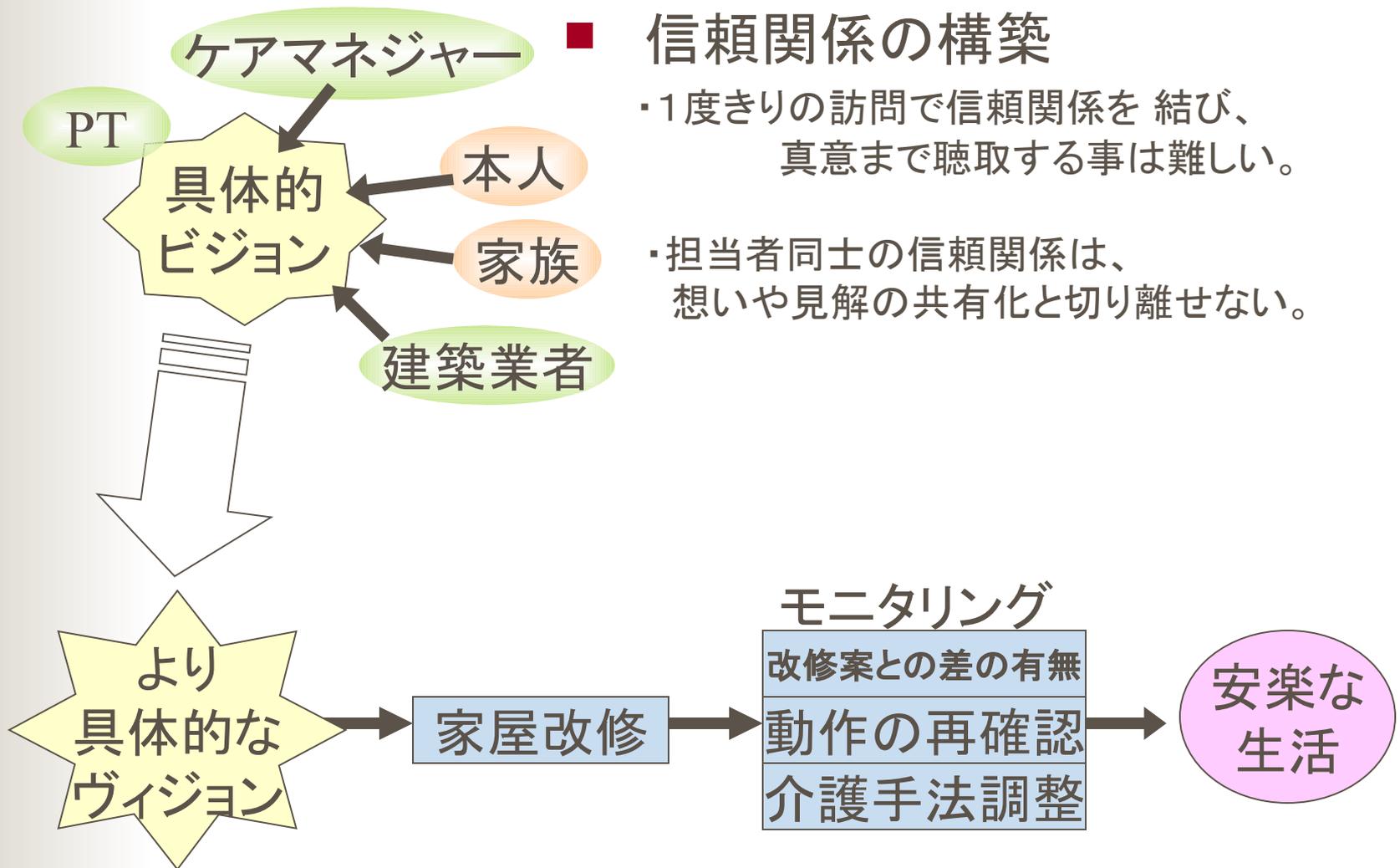
## ケアマネジャー

改修後のサービスプランの具体化  
(福祉用具・訪問介護・通所系サービス…)

## 建築業者

リハプラン・ゴールの明確化

# 今回のケースから学ぶべき点2



# 訪問看護とは…

## ■ 訪問リハビリテーション

病院・診療所または介護老人保健施設から訪問

訪問リハビリテーション費 500単位(20分以上)

## ■ 訪問看護

介護保険下のサービス内容略称。

指定訪問看護ステーションからの訪問

訪問看護(PT・OT) 830単位(30分～1時間30分未満)

フォーレスト訪問看護ステーション

仙台市宮城野区岩切字谷地15-1

TEL:396-0030/FAX:255-1161

<http://teamforest.hp.infoseek.co.jp/>